

アクセス状況・登山道の状況・歴史・自然探訪のポイント・コースタイムの調査に行きました。

◆歴史



※壬申の乱(672)古戦場 :

日本書紀には、大海人皇子（天武天皇）は不破から近江に向かう途中軍を二手に分け、一軍は大山（加太山）を越え大和に向かったが、このとき田中臣足麻呂に倉暦道を守らした。ここへ大友皇子（天智天皇の子）軍が鹿深山を越えて夜襲をかけ、戦死者5～8千人という大合戦になったと記している。この合戦場が余野公園から奥余野森林公園にかけての地といわれている。今も地元には、合戦場の地名が残る。

※古歌に残る倉部山（紀貫之は古今和歌集、勅撰和歌集撰者）

古今和歌集≪905≫に坂上是則の歌として「わか恋に くらうの山の 櫻花 間な散るとも 数はまさらじ」、後撰和歌集（951）に紀貫之の歌として「秋きりの 立ぬるときは くらふ山 おぼつかなくそ 見えわたりける」など20句以上あり、ほとんどは平安時代の有名な勅撰和歌集に出ている。

◆トレッキングコースの状況



みなさまのご参加をお待ちしています。